

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

| | | | | |
|-----------|--|-------|----|----------|
| ① 研究課題名 | 脾温存尾側臍切除術後長期経過症例における胃静脈瘤発生リスク因子の検討 -国内多施設共同研究- | | | |
| ② 実施予定期間 | 2021年6月25日から2023年12月31日 (当院では研究の倫理審査委員会承認後に実施します。) | | | |
| ③ 対象患者 | 対象期間中に山口大学医学部附属病院 消化器・腫瘍外科で、脾温存尾側臍切除術を施行された患者さん | | | |
| ④ 対象期間 | 2011年1月1日から2017年3月31日 追跡期間：当院の倫理審査委員会承認日まで | | | |
| ⑤ 研究機関の名称 | 別添参照 | | | |
| ⑥ 対象診療科 | 消化器・腫瘍外科 | | | |
| ⑦ 研究責任者 | 氏名 | 永野 浩昭 | 所属 | 消化器・腫瘍外科 |
| ⑧ 使用する情報等 | 手術時年齢、性別、手術日、疾患名、身長、体重、随伴疾患の有無、術前抗凝固／抗血小板薬内服の有無、手術因子、術後合併症、消化管出血の有無、脾臓摘出の有無（施行日、理由）、画像検査結果（術後3年目、術後5年目）、血液検査結果、転帰等 | | | |
| ⑨ 研究の概要 | <p>《意義》</p> <p>脾臓は免疫機能や濾過機能を有しており、抗原認識、抗体産生や感染に対する防御機構に深く関与しています。そのため、脾臓を摘出すると重症感染症や、後々に悪性疾患を引き起こすリスクが高くなると言われています。それ故、脾体尾部に発生した良性疾患や低悪性度腫瘍に対しては脾温存尾側臍切除術が行われることが多くなりました。脾温存尾側臍切除術では、脾動静脈を温存する術式と切離する術式があります。脾動静脈切離する術式は手術手技が容易であることがメリットですが、脾静脈切離に伴う胃静脈瘤を引き起こすことがあります。また、脾静脈温存は胃静脈瘤の発生リスクが軽減するとされていますが、手術手技が煩雑で、時に脾静脈血栓を起こすことがあります。それに伴い胃静脈瘤を起こすことがあります。胃静脈瘤は消化管出血の原因となり得ますが、脾温存尾側臍切除術症例を長期にフォローした大規模な症例集積報告はなく、長期的な胃静脈瘤発生のリスク因子に関しては明らかではありません。</p> <p>《目的》</p> <p>そこで、本研究では、脾温存尾側臍切除術長期経過症例における胃静脈瘤</p> | | | |

| | | | |
|---------------|---|--------------|------------------|
| | <p>発生と臨床病理学的因子との関連性について検討します。この研究により、脾温存尾側脾切除術症例における周術期の長期的な安全対策が可能になると考えます。</p> <p>本研究は、滋賀医科大学が主任研究機関を務める多機関共同後ろ向き観察研究です。</p> <p>本研究は日本脾切研究会に所属する医療機関と共同で行われます。各施設の情報は識別番号を用いて区別し、各施設で匿名化を行った上で、主施設である滋賀医科大学に提供されます。</p> | | |
| ⑩ 倫理審査 | 倫理審査委員会承認日 | 2022年4月18日 | |
| ⑪ 研究計画書等の閲覧等 | <p>研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。</p> <p>詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。</p> | | |
| ⑫ 結果の公表 | 学会や論文等で公表します。 | | |
| ⑬ 個人情報の保護 | 結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。 | | |
| ⑭ 知的財産権 | 滋賀医科大学に帰属します。 | | |
| ⑮ 研究の資金源 | 滋賀医科大学外科学講座の資金 | | |
| ⑯ 利益相反 | ありません。 | | |
| ⑰ 問い合わせ先・相談窓口 | 山口大学医学部附属病院 消化器・腫瘍外科 担当者：新藤 芳太郎 | | |
| | 電話 | 0836-22-2264 | FAX 0836-22-2263 |

別添

研究組織

研究代表者：

滋賀医科大学

外科学講座 谷 真至

研究事務局：

滋賀医科大学

外科学講座 前平 博充

共同研究機関：

札幌厚生病院

国家公務員共済組合連合会 斗南病院

札幌医科大学

手稲渓仁会病院

北海道大学大学院医学研究科

北海道大学医学研究院

イムス札幌消化器総合中央病院

北海道消化器科病院

北海道労働者医療協会 勤医協中央病院

旭川医科大学

帯広厚生病院

弘前大学大学院医学研究科

岩手県立中央病院

岩手医科大学

東北大学大学院医学系研究科

山形大学大学院医学系研究科

山形県立中央病院

茨城県立中央病院

筑波大学医学医療系

土浦協同病院

東京医科大学茨城医療センター

獨協医科大学

栃木県立がんセンター

とちぎメディカルセンター しもつか

済生会宇都宮病院

那須赤十字病院

自治医科大学
太田記念病院
自治医科大学附属さいたま医療センター
さいたま市立病院
獨協医科大学埼玉医療センター
埼玉医科大学国際医療センター
埼玉医科大学総合医療センター
防衛医科大学校
深谷赤十字病院
千葉大学大学院医学研究院
千葉県がんセンター
日本医科大学千葉北総病院
国立がん研究センター東病院
千葉労災病院
帝京大学ちば総合医療センター
東京歯科大学 市川総合病院
船橋市立医療センター
国保直営総合病院 君津中央病院
東京慈恵会医科大学
赤坂見附 前田病院
東京医科歯科大学
日本医科大学
がん・感染症センター 都立駒込病院
東京女子医科大学東医療センター
公益財団法人がん研究会有明病院
東邦大学医療センター大森病院
東邦大学医療センター大橋病院
東京医科大学
慶應義塾大学医学部
東京女子医科大学消化器病センター
杏林大学医学部付属病院
国立病院機構災害医療センター
八王子消化器病院
東京医科大学八王子医療センター
公立福生病院
日本医科大学多摩永山病院
帝京大学医学部
日本鋼管病院

日本医科大学武蔵小杉病院
聖マリアンナ医科大学
川崎市立川崎病院
昭和大学藤が丘病院
北里大学医学部
横浜市立大学
東海大学医学部
湘南藤沢徳洲会病院
新潟県立中央病院
新潟大学大学院
富山大学
済生会富山病院
富山市立富山市民病院
金沢大学医薬保健研究域医学系
福井大学医学部
福井県済生会病院
山梨大学医学部
群馬大学
佐久総合病院佐久医療センター
信州大学医学部外科学教室
伊南行政組合 昭和伊南総合病院
岐阜大学
大垣市民病院
浜松医科大学附属病院
聖隸三方原病院
名古屋医療センター
愛知県がんセンター
名古屋大学大学院医学系研究科
名古屋市立大学医学部
名古屋セントラル病院
藤田医科大学ばんたね病院
藤田医科大学
愛知医科大学
三重大学大学院医学系研究科
松阪市民病院
松阪中央総合病院
滋賀医科大学
大津赤十字病院

長浜赤十字病院
京都府立医科大学
京都大学医学研究科
京都第一赤十字病院
公益社団法人京都保健会 京都民医連中央病院
社会福祉法人 京都社会事業財団 京都桂病院
淀川キリスト教病院
(公財)田附興風会医学研究所 北野病院
大阪府済生会中津病院
大阪市立総合医療センター
大阪国際がんセンター
大阪医療センター
大阪警察病院
大阪市立大学大学院医学研究科
大阪大学大学院医学系研究科
大阪医科大学
関西医科大学
近畿大学医学部
大阪労災病院
堺市立総合医療センター
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター
ベルランド総合病院
神戸大学大学院医学系研究科
神戸市立医療センター中央市民病院
兵庫県立淡路医療センター
公益財団法人 甲南会 甲南医療センター
明和病院
兵庫医科大学
近畿大学奈良病院
天理よろづ相談所病院
奈良県立医科大学
和歌山県立医科大学
島根大学医学部
鳥取大学医学部
岡山大学病院
川崎医科大学
倉敷中央病院
広島市立広島市民病院

地方独立行政法人 広島市立病院機構 広島市立安佐市民病院
広島大学大学院 医系科学研究科
広島大学病院
国家公務員共済組合連合会 広島記念病院
福山市民病院
国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター
JA 広島総合病院
宇部興産中央病院
山口大学大学院
高松赤十字病院
香川大学医学部
愛媛大学大学院医学研究科
愛媛県立中央病院
一般財団法人永頼会 松山市民病院
松山赤十字病院
高知医療センター
北九州市立医療センター
戸畠共立病院
国立病院機構九州医療センター
社会医療法人社団至誠会 木村病院
九州大学大学院医学研究院
福岡大学医学部
久留米大学
飯塚病院
佐賀大学医学部
長崎大学大学院
長崎医療センター
佐世保市総合医療センター
熊本大学大学院生命科学研究部
大分赤十字病院
宮崎大学医学部附属病院
鹿児島厚生連病院
鹿児島市医師会病院
鹿児島大学病院
琉球大学医学部
中頭病院
沖縄県立中部病院
社会医療法人仁愛会 浦添総合病院